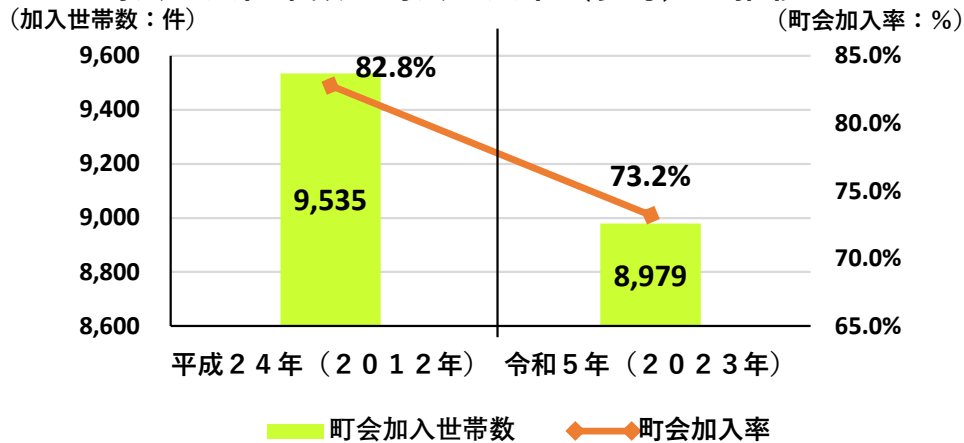


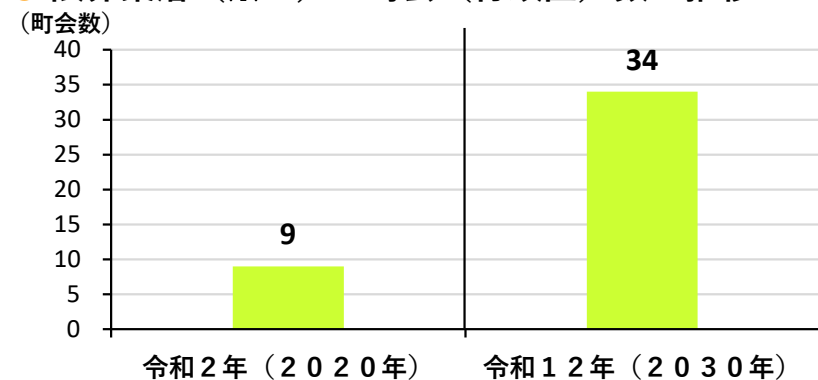
1 町会運営について (1)

- 町会は、地域住民のふれあいの場をつくり、お互いに助け合って協力をしていくことで、快適で住みよいまちを作り上げていくために、一定の地域内に住む人々の最も身近な自治組織です。
- 町会数は**62町会**(2町会は解散)で、町会加入世帯数は**8,979世帯**と、11年前より556世帯減少しています。(令和5年4月1日現在)
- 町会加入世帯数の内訳では、**30~199世帯の町会が42町会**となっており、全町会数の7割弱となっています。(令和6年4月1日現在)
- 令和5年4月1日現在の**町会加入率(参考※1)**は**73.2%**と、11年前より9.6ポイント低下しております。(※1)母数が住民基本台帳の世帯数のため
- **限界集落**となる町会(行政区)数は、5年後の**令和12年には34町会**と、半数以上を占める予測となっております。
- 平川市の人口の年齢構成比率では、**老年人口(65歳以上)比率(=高齢化率)**が**5年後の令和12年には36.8%**と増加し、生産年齢人口(15歳~64歳)比率が51.5%に減少することを考えますと、ますます町会運営が厳しくなることが想定されます。

● 町会加入世帯数と町会加入率(参考)の推移

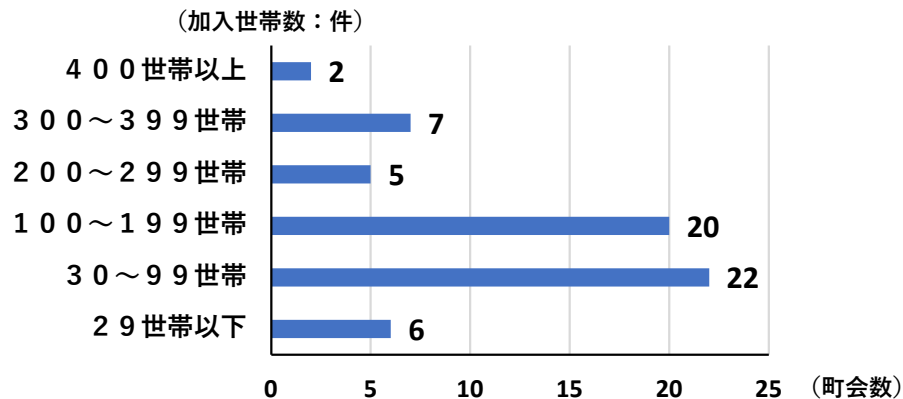


● 限界集落(※2)の町会(行政区)数の推移

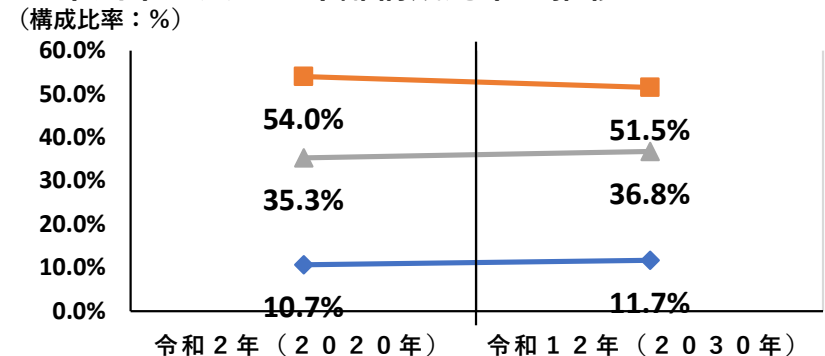


(※2) 限界集落とは、過疎化によって、その集落の人口の50%以上が65歳を超え、コミュニティ機能の維持が困難と認められる集落をいう。

● 町会における加入世帯数の内訳



● 平川市の人口の年齢構成比率の推移

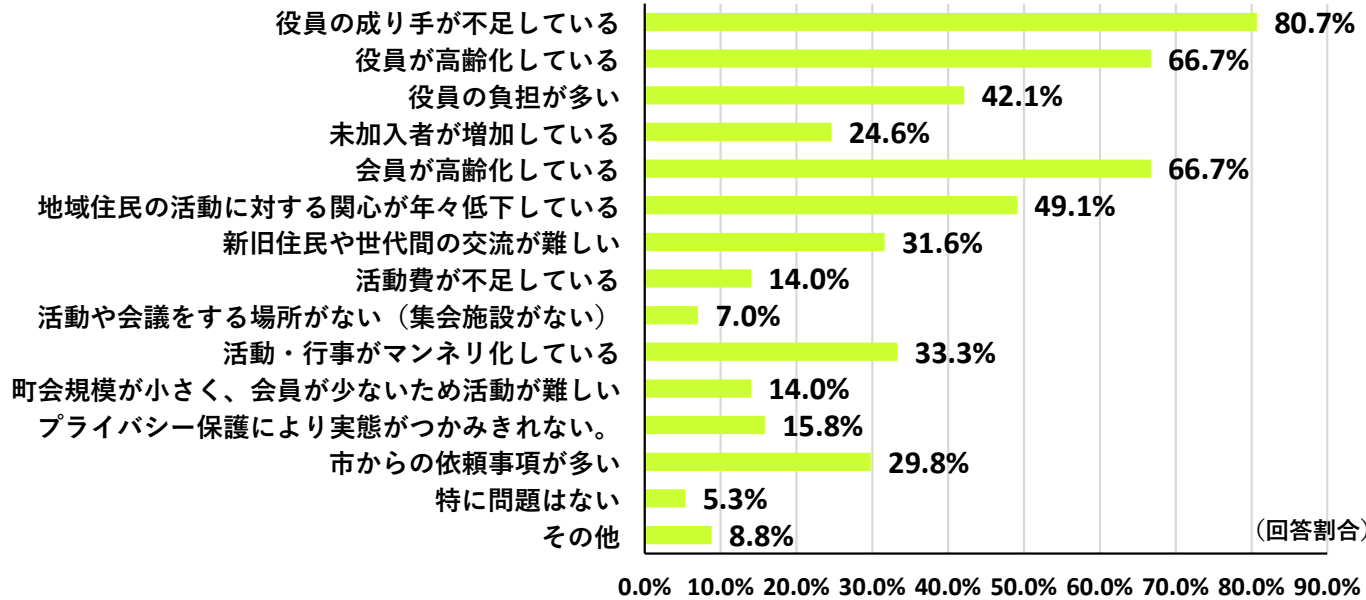


◆ 年少人口比率 ▲ 生産年齢人口比率 ▲ 老年人口比率 ■ 個人調べ

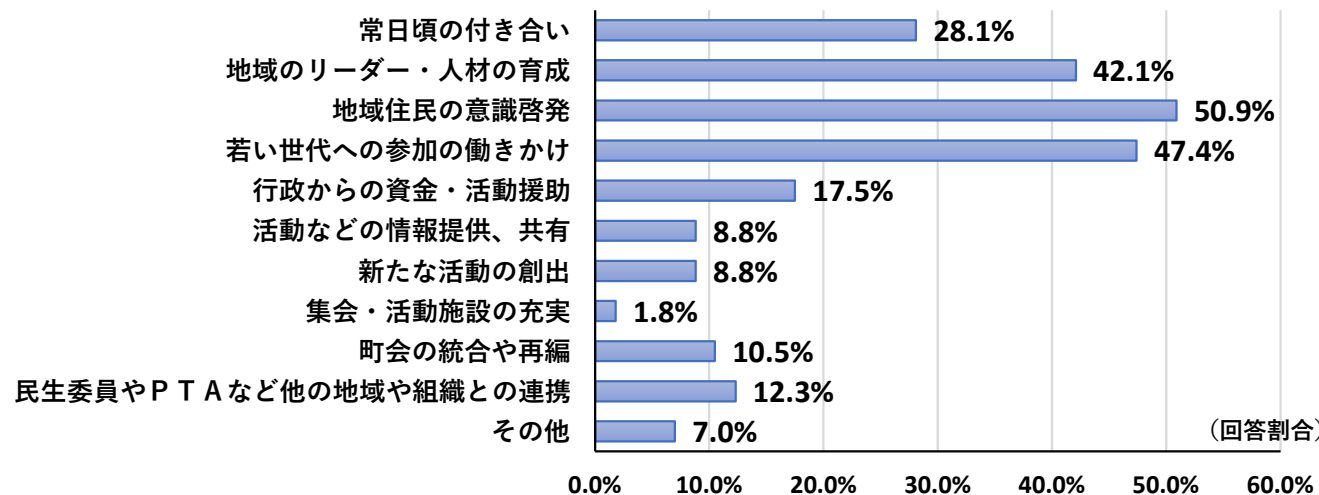
1 町会運営について (2)

- 町会活動を行ううえでの課題は、「役員の成り手が不足している」が80.7%と最も多く、次に「役員・会員の高齢化」となります。
- 課題解決のために必要なことは、「地域住民の意識啓発」が50.9%と最も多く、次に「若い世代への参加の働きかけ」となります。

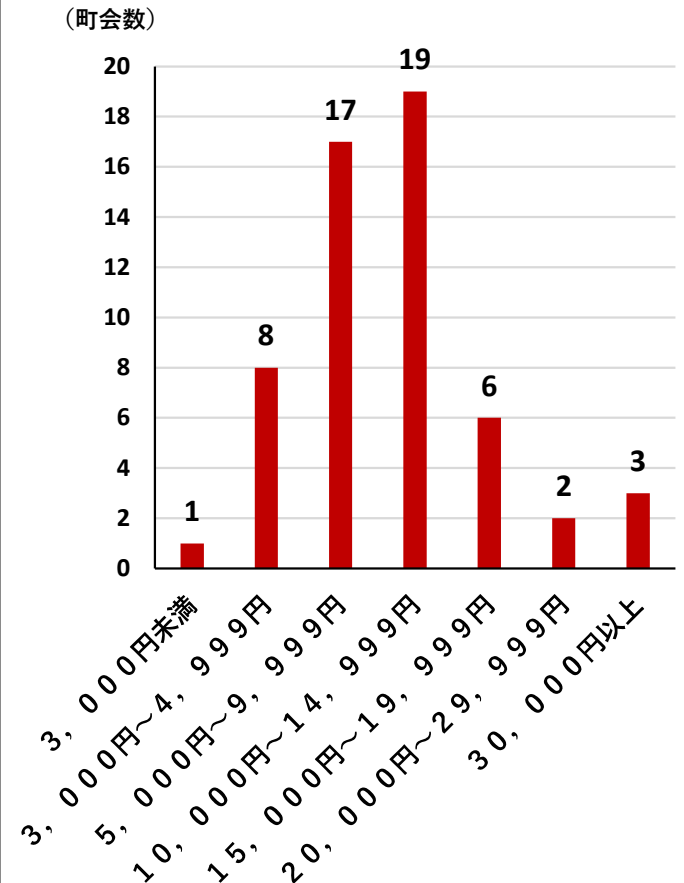
● 町会活動を行ううえでの課題 (複数回答可)



● 課題解決のために必要なこと (3つまで回答可)



● 一般世帯の町会費 (年間) について



■ 最大: 60,000円 ■ 最小: 1,800円
 ■ 平均: 11,546円

※ 6 町会については、連絡をとることができませんでした。
 ※ 町会ごとに建物や水道ポンプなどの維持や活動にかかる費用が異なるため、町会費にバラツキがみられました。
 ※ 中山間地域の町会で、町会費が高くなる傾向がありました。
 ※ 町会費と町会加入率の間には関係性がみられませんでした。

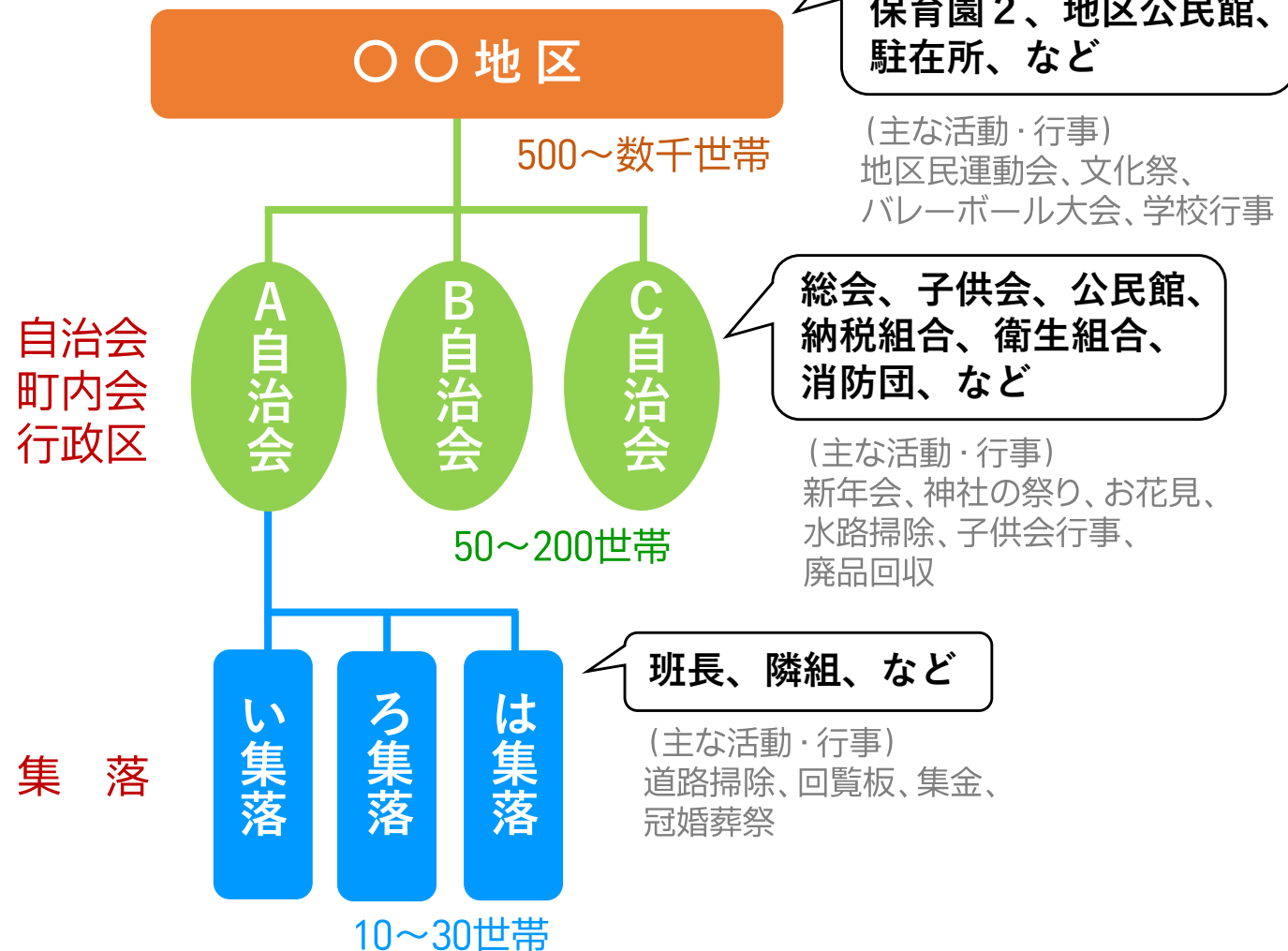
2 地域運営組織（RMO）について（1）

農山村地域の住民主体の地域づくりの変化 I

① “地域” の変化

(旧) 小学校区域
地区公民館区域

* 岩手県花巻市田力自治会の場合



【 傾 向 】

- ・ 行事のマンネリ化
- ・ 何をしても人が来ない
- ・ 役員の固定化・高齢化
- ・ しんどい。

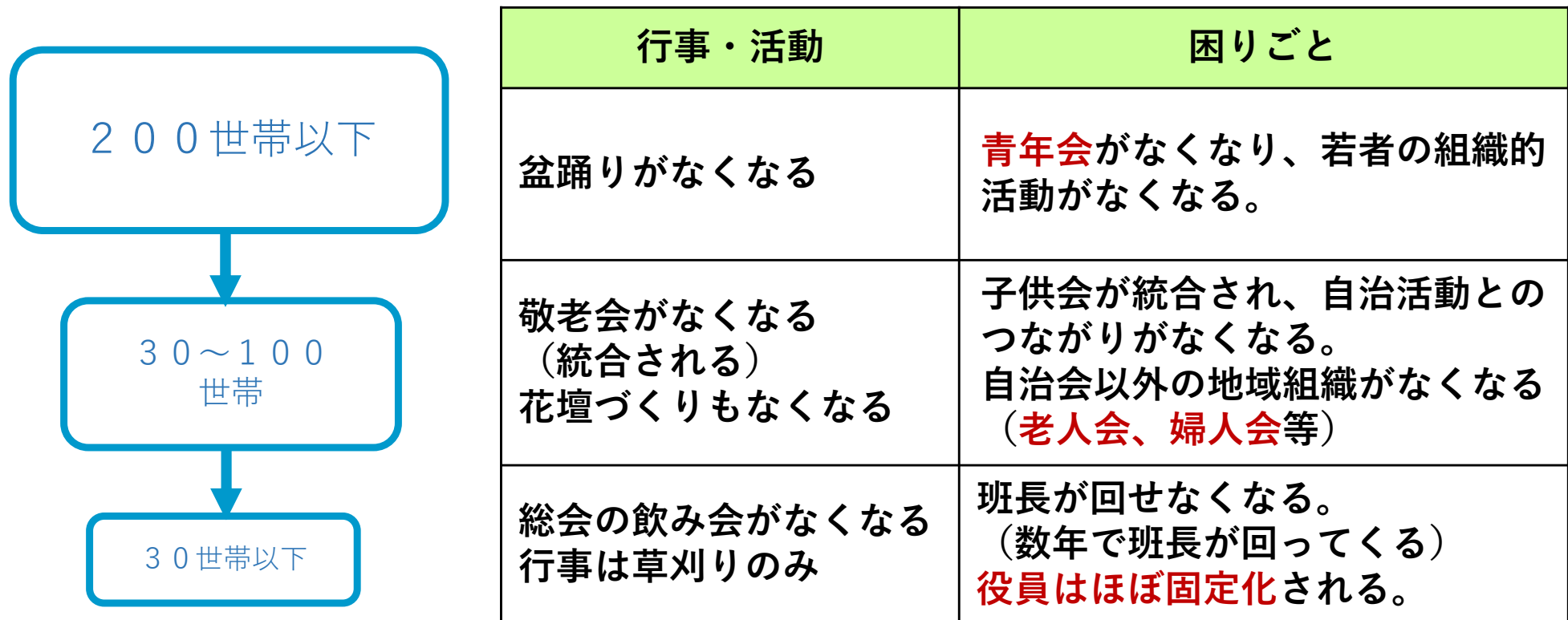
- ・ 役員が固定
- ・ 若手がない
- ・ 子どもがない

- ・ 空き家が増えた
- ・ 班長回せない
- ・ 役員出せない

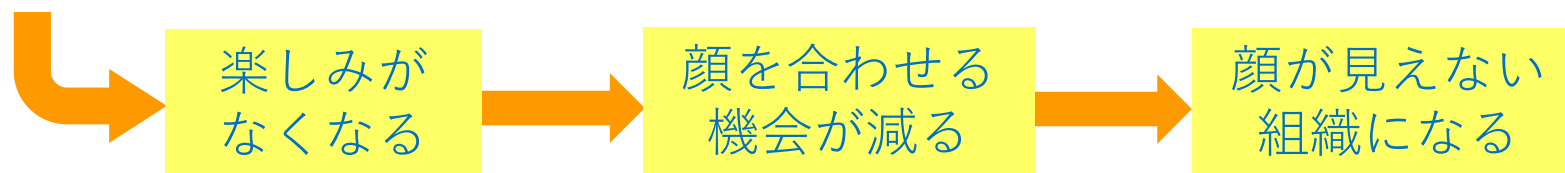
2 地域運営組織（RMO）について（2）

農山村地域の住民主体の地域づくりの変化 I

②自治会・集落の縮小の過程



■ やらなければいけないことだけやる組織になる

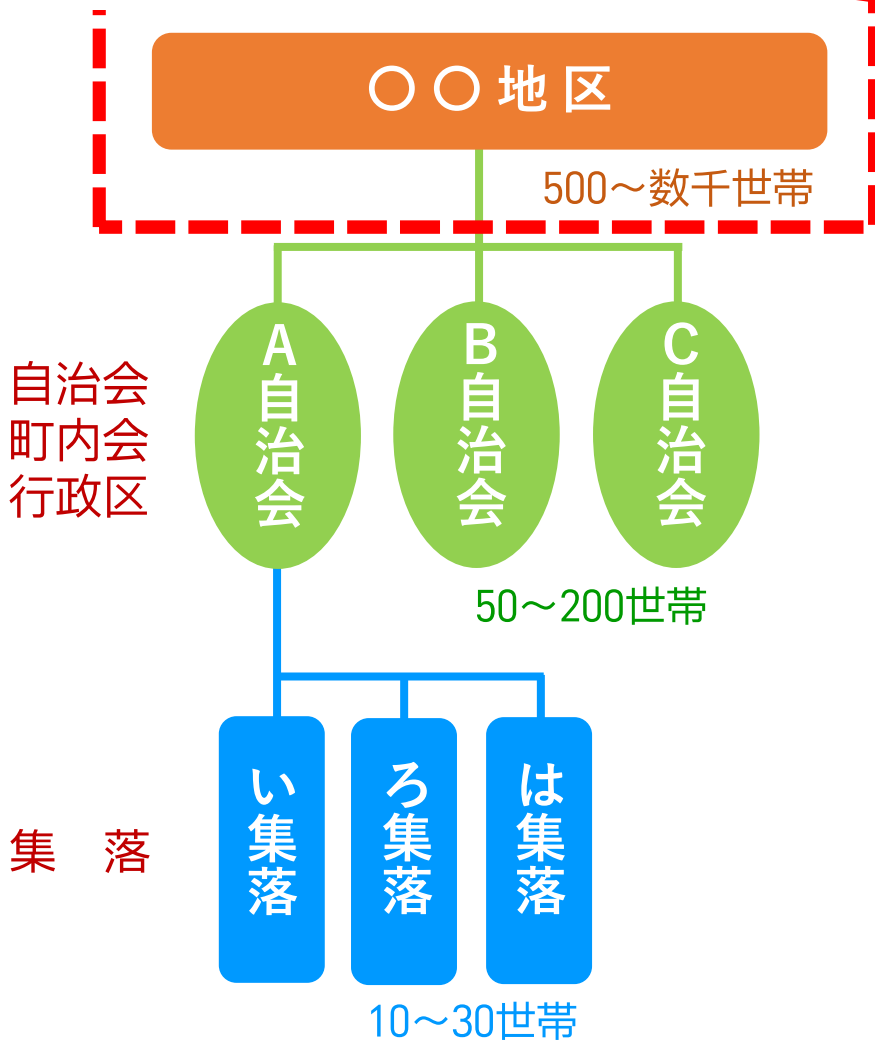


2 地域運営組織 (RMO) について (3)

農山村地域の住民主体の地域づくりの変化 I

③地域運営組織 (RMO) 形成

(旧) 小学校区域
地区公民館区域



地域運営組織 (RMO) 形成！！

⇒ 様々な生活課題を解決することが期待される。
自治会や集落の支援や補完機能も期待。

※ 地域運営組織とは、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織のこと

農山村地域の住民主体の地域づくりの変化 II

①地域おこしから地域づくりへ、そして地域運営へ

項目	地域おこし	地域づくり	地域運営
目的	地域の活性化 経済的な発展	暮らしの安心 生活課題の解決	生活サービスの 補完・提供
対象	地域外の人 都市住民	地元住民	地元住民 + 関係人口 (対流人口)
主な活動	特産品の開発 グリーンツーリズム等	有償ボランティア 防災マップ作り 見守り活動等	コミュニティビジネス (お店の運営、送迎サービス、除雪等)
備考	国土開発計画 (昭和 37 年~)	国土形成計画 (平成 20 年~)	国土のグランドデザイン 2050 (平成 26 年)

日本の経済成長が頭打ち
→ 地域開発競争が激化
→ いくら取り組んでも、暮らしの安心につながらなかった。

くらしに必要な生活サービスが地域からなくなり始める。
→ 商店、病院、ATM、バス、タクシー、等

■ 参考資料 特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター 常務理事 若菜千穂博士 (農学) が、2023年1月23日「農業・農村の多面的機能の持続的発展に向けた全国シンポジウム」で講演した資料を一部抜粋し編集

2 地域運営組織（RMO）について（4）

地域づくりのはじめ方

③地域運営組織（RMO）形成の場合・・・複数集落、生活課題解決

■ ワークショップまでの道のりを丁寧に！

OODAプロセス

（※）OODA（ウーダ）とは、変化の激しい状況において、迅速な意思決定や行動をおこなうことを目的としたフレームワークです。

Observe 観察する

- 自治会・団体ヒアリング
- 関係者分析
- 人口推計

Orient 理解する

- 進め方を決める・合意する。
- 集落点検ワークショップ
- 住民アンケートⅠ
- 事業・行事の整理

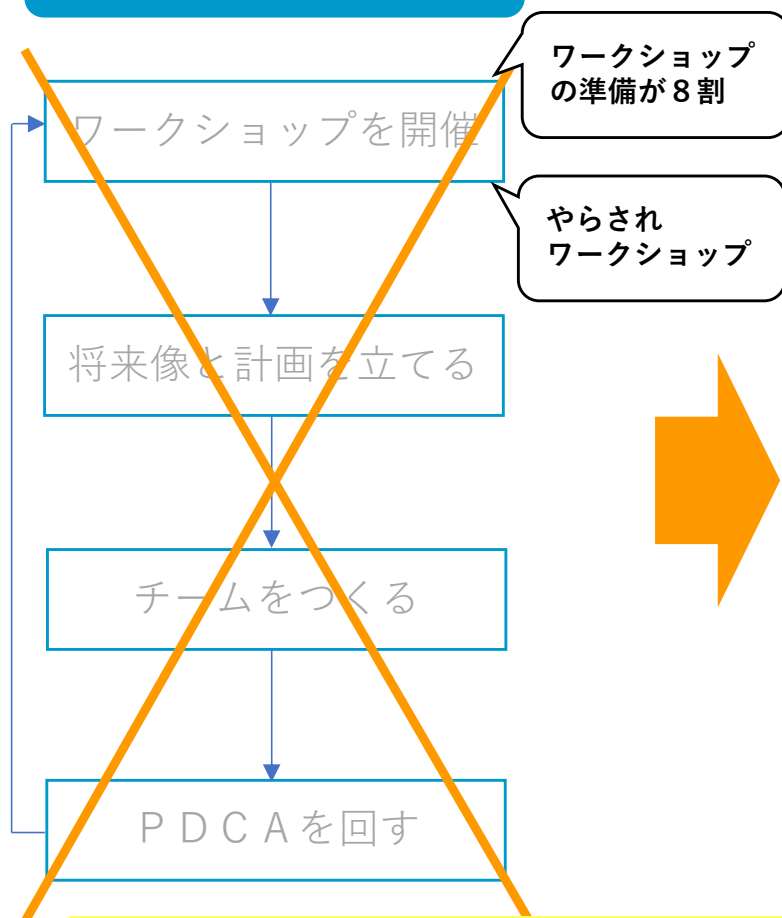
Decide 決める

- 計画づくりワークショップ
- 住民アンケートⅡ

Act 動く

- 組織の改編
- チームでの実践

PDCAプロセス



（ポイント）事前の準備を丁寧にし、多様な主体の参加を目指すことが大事である！！